

# JSBB学童野球活動実態調査

学童野球活動現場の改善及び活性化のための本アンケートのご回答ありがとうございます。  
本日現在、全国から2,123チームのご回答をいただきました。心より感謝申し上げます。



公益財団法人全日本軟式野球連盟  
JAPAN RUBBER BASEBALL ASSOCIATION

25.5%

## 現在の回答状況

2,123チーム / 8,333チーム (R7登録数)

全国各地から多くのご協力をいただいています。

### 高い関心

早期からいち早くご協力をいただいている地域をはじめ、全国の多くの指導者の皆様から熱意ある回答を頂いています。

### 多様な現場の声が不可欠

チームの規模や活動環境によって、現場の課題は様々です。これからの学童野球の指針に偏りのない現場の声を反映させるため、未回答のチームの皆様からのご協力が必要です。

## 本日(7/10)現在の途中経過(一部抜粋)

Q15.  
暴言・ハラスメントへの問題意識

約6割

「非常に深刻」「やや深刻」と回答  
計:61.2%

多くの現場指導者が、暴言・ハラスメントを学童野球における重要な課題として挙げています。

Q29.  
公式戦でも出場機会を大切に

約8割

「常に」「概ね」工夫していると回答  
計:78.9%

多数のチームが、公式戦においても可能な限り多くの選手に出場機会を設けるよう工夫して取り組んでいます。

本調査は、今後の学童野球の各種施策を検討・決定するための貴重な資料となります。現在、全国の1/4のチームからご回答を頂いていますが、真の指針とするためには、残りの3/4のチームの生の声が必要です。未回答のチーム関係者の皆様におかれましては、ぜひ率直なご意見をお寄せください。

**回答期限:7月17日(金)**

**皆様のご協力をよろしくお願いいたします。未回答のチームの皆様はこちらからご回答ください**

